

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：国道173号道路改築事業 ひらのやました 平野山下拡幅	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：兵庫県 延長 ：4.08km	
起終点 ：自：川西市平野 至：川西市山下			
事業概要 ：一般国道173号は、大阪府池田市を起点とし、京都府綾部市に至る延長約71kmの幹線道路である。平野山下拡幅は、兵庫県東部を南北に結ぶ重要路線にあって、住宅団地の開発等による混雑が著しい川西市平野から同市山下に至る区間において、渋滞を解消し、安全・円滑な交通の確保を図ることを目的とした延長4.08kmの4車線道路である。			
H8年度事業化	S32年度都市計画決定 (S58年度変更)	H8年度用地着手	H8年度工事着手
全体事業費 ：104億円		事業進捗率 ：96%	
計画交通量 ：41,600台/日		供用済延長 ：2.63km	
費用対効果分析結果	B/C ：(事業全体) 2.8 (残事業) 20.0	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 16/118億円 (事業費：12/114億円 維持管理費：4/4億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 328/328億円 (走行時間短縮便益：307/307億円 走行費用減少便益：13/13億円 交通事故減少便益：8/8億円)
基準年 ：平成17年			
感度分析の結果			
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間の削減） 歩行者・自転車のための生活空間の形成（歩行者・自動車の通行の快適・安全性の向上） 他5項目 関係する地方公共団体等の意見			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成11年度に第二名神高速道路が新規事業着手され、平成13年度新規事業着手した(一)川西インター線を經由して東畦野交差点で本路線に接続予定。用地単価下落等の影響で事業費が約13.4億円減少した。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H8年度から事業着手し、全区間において用地買収に着手。 H15年3月に約0.5km、H15年10月に約0.5km、平成16年1月に約0.5km、平成16年8月に約0.3km、平成17年5月に約0.6kmを供用（平野工区完成）。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収率は97%を越えており、早期事業効果を発現するために、土地収用法に基づく事業認定手続きを進めており、H18年度前半までに用地買収を完了させる。			
施設の構造や工法の変更等			
対応方針			
対応方針決定の理由 ：事業進捗が約96%であり、平成18年度完成の見込みが立っていることから、継続して事業を実施する必要がある。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。